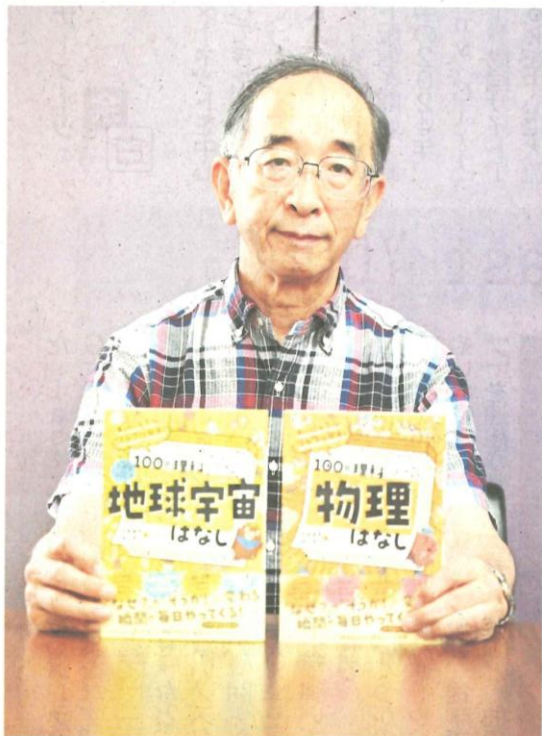


デーリー東北

2026年(令和8年)8月6日(木曜日) (10)

「100日で理科にハマっちゃう 地球と宇宙のはなし」



100日で理科にハマっちゃうシリーズの「地球と宇宙のはなし」「物理のはなし」の執筆を担当した井上貫之さん

元八戸市立小中野小学校長で、八戸工業大非常勤講師の井上貫之さん(69)が執筆を担当した「100日で理科にハマっちゃう 地球と宇宙のはなし」が、実務教育出版から刊行された。一日「1つずつ、地球や天気、天体などに関する話題を1、2分で易しく解説。井上さんは「子どもたちが『え?』『なんで?』と考え、理科を好きになるきっかけになってくれたら!』と語り、夏休みには親子で楽しんで読んでくれることを願う。(松浦大輔)

一日10分親子で楽しんで

井上さんが新刊執筆

八工大
非常勤講師

井上さんは元中学教諭で、市児童科学館館長補佐や番屋小・小中野小の校長を歴任。市少年少女発明クラブ会長も長く務めた。「100日で理科にハマっちゃう」シリーズでは、昨年刊行された「物理のはなし」に続く執筆参加で、今回は左巻健男・元法政大教授との共著。「えっ、コラと同じだった!? 火山が大爆発する秘密」「P波とS波の到達時間差比べ震源地を特定せよ!」「月はどこやって生まれた?」「夜空の向こうに宇宙人はいる?」など興味をそそめるテーマを100個は1430円。

並べ、イラストと分かりやすい文章で解説している。

小学校から大学まで幅広い年代の教育に携わり、保育園などでも科学遊びの講師を務めてきた井上さん。「子どもたちに、日常の不思議に自分からアプローチして、なぜそうなるのかを考える習慣を身に付けることが大切」と実感している。

※この記事・写真等は、デーリー東北新聞社の承諾を得て転載しています。